

明日の小山田を考える会の目的は、住んで良かった・ずっと住み続けたい・住み良い地域を創ることです。そのためには、地域の皆さんの積極的な関わりが必要です。

当地区の移住定住者との懇談会を開催



令和5年度から取り組んでいる「人口減少対応事業」では、今まで視察研修や移住者の受け入れを考える研修会を実施してきました。

今年度は小山田地区に移住した方々からの生の声を聞いて、今後の小山田地区活性化及び人口増に繋げるヒントを見いだす機会とするため、小山田ふるさと地域協議会との共催で『移住定住者を囲んでの懇談会』を2月1日（日）に開催しました。懇談テーマである「小山田の良いところ」、「小山田の未来（将来）像」について3グループに分かれ、30分ごとにローテーションしながら懇談しました。移住者からは「目的があって空き家を探していたところ住まいが見つかった」、「住宅街より静かな場所で自然があるところ（土地）を探していて土地が見つかった」等、土地や住まいが見つかった事が移住した一番の理由のようでした。住んでみたら「自然が豊か」、「星空がきれいで素晴らしい」、「交通にも恵まれている」といった肯定的な意見や、「昔ながらの風習や地域でのやり方に戸惑いがあった」とのお話もありました。



今後は「ヤギを飼ったり、農業に挑戦してみたい」、「加工品をオリジナルブランド化して販路を広めたい」等の声が寄せられました。地元民からは、「移住定住者が持っている才能を活かしてあげる機会を与える」、「互いに持ちつ持たれつのか関係を築く」等の意見も出されました。移住者も当地域関係者も「大変良い懇談会だったので第2弾も開催してもらいたい」との感想もありました。



お互いに支え合う「結い」の気持ちで



生活環境福祉部「入院セット配付事業」は平成25年から開始し、地域に住む一人暮らしの高齢者宅や高齢者のみの世帯など多くの皆さんに配付・ご利用いただいています。今年度も、急な入院時に困らないようにと、10月下旬から民生児童委員を中心に地域内の5世帯に配付を行いました。地域内でお互いに支え合う「結」の気持ちが、高齢者が地域で暮らせる大きな力となっていると思います。

後世に引き継ぐ地域の芸能を発表



演目の紹介をする児童

毎年2月11日の建国記念の日の祝日に開催している「後継者育成郷土芸能発表会」が小山田振興センターを会場に東和地区教育振興運動実践協議会小山田支部と共催で開催しました。当日は地元市議会議員をはじめ、小川口東和小学校長、岩角東和中学校長、及川東和町芸術文化協会長のご臨席をいただきました。小山田地域で受け継がれている芸能を、子どもたちが日頃の練習の成果を力いっぱいステージで披露してくれました。地域内外から大勢の皆さんが来場し終始拍手を送っていました。最後に両学校長より、「普段学校では見ることのない子ども達の様子を見ることができ、大変良かったです。」との言葉をいただきました。

し終始拍手を送っていました。最後に両学校長より、「普段学校では見ることのない子ども達の様子を見ることができ、大変良かったです。」との言葉をいただきました。

○ 秋葉、駒形、中川目、南川目
《こきり田植え踊り》
旧小山田小学校運動会で毎年踊られていた「こきりこ踊り」



○ 外谷地、北小山田
《外谷地太神楽田植え踊り》
その年の豊作を祈り、農作業の様子を踊りに表現した演目の中から「口上」「こきりこ踊り」「笠ゆり」



○ 石鳩岡
《石鳩岡子ども荒鷲太鼓》
平成2年に発足した創作和太鼓の演奏の中からの「合わせ太鼓」「荒鷲太鼓」「津島太鼓」の三演目



○ 前田、留ヶ森、古田
《御祝い》
結婚式など、様々な宴会の席で歌われていた一家の繁栄を祈る「祝い唄」



小山田保育園児「神楽」



中学生/石鳩岡神楽「鶏舞」



中学生/石鳩岡神楽「三番叟」

皆さんの知識が命を救う 救急講習!



総務部「救命救急講習会」を1月31日に花巻中央消防署東和分署より講師として消防司令補・栗原剛志さんの派遣をいただき「普通救命講習Ⅰ」を実施しました。この講習会は令和4年から行っており、基本的に3年を目処とした受講が望ましいことから、受講から3年が経過した受講者と新規受講者を対象に行いました。呼吸確認方法が変わった事や人工呼吸が省略された事などの説明を受け、実技を交えた心肺蘇生からAED操作方法など救命処置についての講習を受けた後、救命処置の方法・手順の理解の確認のため、一人ひとりに一連の救命処置の模擬実技を行っていただきました。そして全員に「普通救命講習Ⅰ修了証」が交付されました。なお、今年4月1日から、花巻市からの119番通報は全て盛岡中央消防署に設置される「いわて消防指令センター」で受信されることになるので、救急要請をする際の住所は「花巻市」から伝えてくださいとの事でした。また、「救急車を呼んだ方がよいか」、「今すぐ病院に行った方がよいか」など、判断に迷ったときに、「#7119」に電話することで、救急電話相談を受けることができるそうですよ。



（この文章は上記の文章と重複しています）

令和7年度 各地域団体及び組織に対する支援事業

■ 地域史跡等環境保全補助事業

○ 軽井沢つつみ公園運営委員会

○ 小原樗山公園管理組合



■ 中核農業者研修事業(明日の農業を語る会)

視察研修:江刺「株式会社上小田代」



■ 農産物加工施設経営研修事業(小山田美女会)



視察研修:遠野市小友「産直ともちゃん」 &

綾織「AYAORI HOT CAT」

■ 公民館施設整備事業

○ 石鳩岡公民館

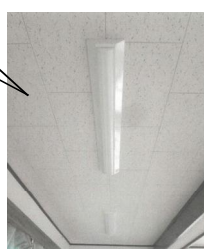
○ 南川目公民館

○ 秋葉公民館

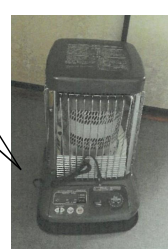


LED照明への改修工事

冷凍冷蔵庫の更新



LED照明器具とブルーヒーター・カーテンの購入



■ 石鳩岡神楽伝承支援事業

神楽宿水道引き込み工事(量水器、メーターユニット、サドル分水栓等取付含む)

■ 市道側溝設置事業(第4行政区自治会)

市道外谷地線(外谷地5区内)側溝敷設工事:80メートル

= 令和7年度 議会報告会「議員と話そう」が開催されました =



2月16日、小山田振興センターにおいて令和7年度花巻市議会報告会「議員と話そう」が開催されました。当日は佐藤現議員、佐藤峰樹議員、阿部一男議員、似内一弘議員、佐々木精市議員、久保田彰孝議員の6名が来館しました。今回は地域の方々との対話を重点に置き2部構成で行われ、第1部は12月定例会の概要及び常任委員会の活動報告、第2部はワークショップ形式による「住み続けたいと思える花巻にするには」を共通テーマとして、3グループに分かれ議員を交えて意見を交わしました。最初は戸惑う場面も有りましたが、言葉を交わすに連れて様々な意見が出され、有意義そして和やかな時間を過ごすことが出来ました。テーマに対して各グループごとに内容は異なるものの、「元気な所に人は集まる。母体となる花巻市が元気であれば、地域も元気になれる。」との共通した意見でした。



最初は戸惑う場面も有りましたが、言葉を交わすに連れて様々な意見が出され、有意義そして和やかな時間を過ごすことが出来ました。テーマに対して各グループごとに内容は異なるものの、「元気な所に人は集まる。母体となる花巻市が元気であれば、地域も元気になれる。」との共通した意見でした。

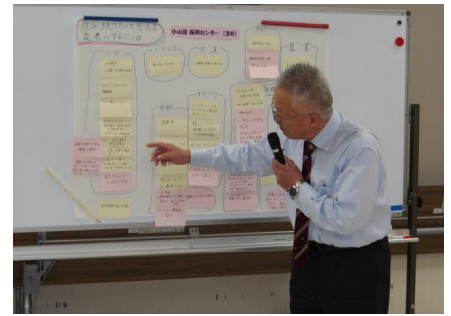
第1グループの発表
浅沼 直行 (南川目)



第2グループの発表
佐藤 現 市議会議員



第3グループの発表
菊池 徹哉 (前田)



令和8年2月末現在

() : 前月比

| 小山田の人口 | 世帯数/戸 | 男/人 | 女/人 | 計/人 |
|--------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 第1行政区 | 53 (0) | 77 (1) | 62 (0) | 139 (1) |
| 第2行政区 | 146 (0) | 176 (0) | 177 (0) | 353 (0) |
| 第3行政区 | 154 (-1) | 180 (0) | 208 (-1) | 388 (-1) |
| 第4行政区 | 114 (0) | 155 (-1) | 159 (0) | 314 (-1) |
| 計 | 467 (-1) | 588 (0) | 606 (-1) | 1,194 (-1) |

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています



春の便り「ふきのとう」
振興センター / R8.3.2撮影

～私のひとり言～ 座るときや立つときに「よっこらしょ」とつい口から出てしまいますよね。この言葉は力を入れる動作や姿勢を安定させるためなそうです。脳科学的には余計な考えを減らし運動パフォーマンスが向上し発揮しやすくなったり、息を吐くことでエネルギー消費が増え、自律神経が整い、リラックス効果が期待できるそうです。言葉の語源は仏教用語で、修験者が山を駆け上がる時「六根清浄(ろっこんしょうじょう)」と掛け声を上げて登る事から来ています。「六根」とは眼・耳・鼻・舌・身・意を指す言葉で、「清浄」、つまり迷いを断ち切って身も心も浄化するといった意味を持っています。それが「六根清浄」⇒「どっこいしょ」⇒「よっこいしょ」と変化し、日常で力を入れる時に使われるようになったそうです。「よっこらしょ」と声を出すと無意識にお腹の筋肉に力が入るため、体感が安定し腰の負担が減るそうです。みなさん「よっこらしょ」の掛け声と共に健康に過ごしましょう。(菊池)

発行：明日の小山田を考える会・電話：0198-42-2941
ホームページ：http://www.asuno-oyamada.jp
メールアドレス：asuno-oyamada@tuba.ocn.ne.jp

